



—教えて！デバガメ先生—
第4回 只見のブナ林の何がすごいのか？



只見のブナのなにがすごいかっていえば、次の5つの特徴があげられます。

1. 幹回りが太いこと
2. 樹高が高いこと
3. 巨木の密度が高いこと
4. 原生度が高いこと
5. 面積が広いこと

1・2・3 をまとめれば、巨木が多いということです。胸高幹周が3m以上を巨木といますが、只見のブナの場合、3mを超えるのはふつうです。幹周4m以上のブナが数多くあります。樹高も30mを超えるものがあります。よそで30mに達するブナはなかなかありません。



浅根性のブナは、強風に弱くてすぐ倒れてしまうので、巨木になるまえに寿命を終えてしまいます。只見のブナが太く樹高が高いのは、強風に当たらないこと、日照条件や土壌条件が良好なことなどがあげられると思います。



(写真上・下／小塩沢のブナ '08.7.5)

原生度が高く、面積が広いことは、昨年4月、83,500haという国内最大規模の「奥会津森林生態系保護地域」が誕生したことが証明してくれています。この保護林ができたことをほとんどの方は知っていませんが、只見地域のブナの重要性を語るうえで欠かせないことです。森林生態系保護地域とは、林野庁が設定する7種類ある保護林のひとつで、保護林のなかでも規模が大きく規制が強いものです。これが只見地域に設けられたということは、日本の森林帯を代表する希少で原始的な天然林があることを国が認めたということです。只見のブナのすごさを客観的に証明してくれているのが、「奥会津森林生態系保護地域」なのです。

(勇)

■学ぶ会 ML より

*4/24 昨日の**勇学スライドショー**は…「**只見の自然**がいかにかスゴイか」を各地で見せつけるために作ったプレゼンテーションを堪能して質疑応答。…**多雪が原始的なブナ林、雪食地形、雪に適応した植物、発達した水辺林**を育み、それらが**多種多様な生きもの**を育む、それが只見の自然が世界遺産“級”であるゆえん。

「世界遺産級」たらしめるには①資源に気づくこと②資源をみがくこと③共感を得ること。

只見はブナ伐採反対運動があり、学術調査(約20年)があり、みんなに知らしめることがあり、「自然首都」となりえた。という只見至上主義全開な勇学の後、(質疑応答により)人工林・二次林・自然林とその管理方法についての話あり。

世界でも類を見ない原始的なブナ林だとPR、「**ブナ林は4層構造で安定**」と解説しながら、一方でブナ虐待となる下草刈ボランティアに対して「交流人口拡大になる」と町が補助金を出す矛盾、…。(聖)



(小塩沢のブナ '08.7.5)

*5/11 今朝の民報、民友新聞に**カワゴケ発見のニュース**が出ています。…発見者は南相馬市博物館の稲葉修さんです。「また余計なものを見つけて」と批判する人もいるかもしれませんが、「こんなに貴重な自然があるのは只見だけ」と自慢してください。(勇)

*5/16 昨日 18:30 に埼玉県入間市で**カッコウの初鳴き**を聞きました。1994 年から記録を取っていますが、1996 年と同じで最速です。記録では 5/15 から 5/29 の間に初鳴きを聞いています(1998 年のみ 6/11 で何かあったと思われます)。(小見寺)

*5/18 縁結びの神様三石神社の森にちょっと行ってきました。可憐な**マキノスミレ**が林床に花盛り。小さな葉っぱが 1、2 枚、その割に大きな紅紫色の花 1、2 個を根元からすくすくつけます。私のお気に入りのスミレです。ほかに**センボンヤリ、チゴユリの花**もいっぱい。(勇)

*5/21 **カッコウの仲間が勢ぞろい** ジュウイチ、ホトトギス、ツツドリが夕方、黒沢で鳴いていました。ジュウイチはその名のとおりジュウイチ、ジュウイチと鳴くからつけられた名前です。本来 1000m 以上の亜高山帯にやってくる夏鳥です。きっと渡来直後で、これから山に登るのでしょう。ここでカッコウが鳴けばカッコウの仲間 4 種がそろいぶみ。田うないをしている彰さんの横でしばし鳥三昧。(勇)

*5/22 Re: **カッコウの仲間が勢ぞろい** そのすぐ後、黒沢の家の庭でカッコウの鳴き声も聞きました。(恵)

*5/25 大倉、**比良林のサラサドウダン**、花が満開です！昨日、小林の観音堂(小林公民館前)でサラサドウダンらしき花が咲いているのを目撃。今日、蒲生と只見でサラサドウダンとベニサラサドウダンの花が咲いていたので、もしや…と思って、さきほど見に行ったら、ビンゴ！小林の観音堂のもサラサドウダンでした。(聖)

*5/28 (5/25 蒲生散策の花など) 蒲生岳中腹までの主な花は、**ハウチャクソウ**、**チゴユリ**、**クルマムグラ**、**マムシグサ**。**ヒメオアキ**♂(♀は見つからず)もきれい。ユキツバキは終わりかけ。登山口付近は**ヒメサユリ**、**タニウツギ**、**トチノキ**、**フジ**(クリスマスツリー状の杉あり)。

1週間前までは春の花盛りだったのに…とガイドの方に残念そうに言われましたが、予定通りのブナの新緑は楽しめたので、よし！(聖)

*6/5 **ユビソヤナギ調査本数** ブナサミットまで約2週間。我々が顧問、鈴木和次郎さんがユビソヤナギについても発表されるそうです。

で、今、何本調査したところかというところ、2,409本。3月21日、黒沢の1本ユビソが2,358本目。和次郎さん・菊地さんの小戸沢調査データ46本と合わせて、計2,404本でした。その後、入叶津で1本、館ノ川で3本、館岩川で1本、確認。ぼちぼち調査概要をまとめようとしたら、只見川源流部で発見されたそうで、キリがない。(聖)

*6/11 **南会津町議会でユビソヤナギ取り上げ** 南会津町議会で伊南の議員がユビソヤナギについて質問したそうです。町はユビソヤナギの現状を把握しているのか、対策はどうしているのか、と。(聖)

*6/11 元祖・みなかみ町の湯檜曾では、昨年11月、**みなかみ町がユビソヤナギの説明看板を設置**したそうです。今月は谷川岳ロープウェイ駅近くのみなかみ町施設、山岳資料館「谷川サテライト」がオープン、ユビソヤナギ解説掲示あり(以上、我々がライバルにして同志、湯檜曾郵便局長の阿部さん情報でした)。(聖)

*6/12 **ユビソヤナギ、天然記念物に** 今年3月、ユビソヤナギは群馬県指定天然記念物になったそうです(阿部さん資料より)。(聖)

*6/23 **ヒメザゼンソウ** 昨日、ブナ・サミット観察会終了後、講師参加の我々が顧問の鈴木和次郎さん、一般参加の只見の植物通(教委発行『会津只見の植物』調査者)である新潟の刈屋寿さんに色々教わりながら、学会会員有志5人(和子、古川、彰、孝之、聖子)、榎戸沢で遊んで来まし

た。

その後、南郷・和泉田で最近みつけたヒメザゼンソウ群生地に和次郎さんと刈屋さんをお連れしたのですが、実と花が両方ある個体を発見。只見では昨年7月、黒谷でヒメザゼンソウが初確認されたと「広報ただみ」に掲載されたのですが、和泉田にあるんだから明和地区には絶対にある！

と思い、和次郎さんたちと分かれた後、心当たりを探してみたところ、ありました、杉沢に！たぶん、黒谷入で見た「でーろっば」もそう。(聖)



(ヒメザゼンソウ 聖)

*7/12 **蒲生岳麓のヒメザゼンソウ** 7/5 蒲生ガイド三瓶利之さん案内にて見に行ってきました。雑草の中で小さくて、とてもわかりにくい花ですが、かわいく咲いてました。

小塩沢奥のブナ林の案内もして下さるとのこと、下見を兼ねていってきました。沢を100mくらい歩き、いきなり急登で1時間ほど歩くと斜面に太いブナ林を見ることができません。太いので幹周4mくらいでした。(和)



(小塩沢のブナ '08.7.5)



(小塩沢のブナ林 '08.7.5)

*7/13 8 時頃から大倉の自宅付近で**ヨタカ**が盛んに鳴いています。家に居ながらにしてヨタカの鳴き声が聞けるなんて最高！(潤)

*7/13 大倉の家でも**アカショウビン**、聞こえますよ。数年前には近くの神社下で朝、実際に飛んでる姿も見ました。朝陽の中で火の鳥みたいに真紅でした。(潤)

*7/17 **蛍観察にご注意** 先日、黒沢地区の蛍観察地点でまむしが捕獲されました。マムシハンターによると、夜、蛍のように草むらで目が光るそうで、違いは点滅しないそうです。サンダルで気軽に出かけると、大変危険かと思われます。出来るだけ長靴使用お勧めです。(和)

*7/17 **鹿がいっぱい?** ついに只見川にまで鹿が出現! 7月11日、小戸沢で二頭、7月13日、真奈川で三頭確認されました。以上、蒲生の三瓶利之さんからの報告でした。いままで塩の岐川、黒谷川までの確認はありましたが、只見川流域での確認は初めて。本来生息しない場所に侵入してくるのは生態系に悪影響を及ぼします。困った事態になりました。(勇)

*7/17 Re: **鹿がいっぱい?** 尾瀬では今年、例年よりも早くシカが上がって来ており、しかも多いそうです。湿原荒らしも、食草の種類も量も、拡大の一方。(聖)

*7/17 Re: **鹿がいっぱい?** 昨年の秋に小戸沢の林道横の河原でシカを1頭見かけました。私が只見で初めて見たシカです。…小戸沢にはサルの大さ

な群れもいます。(彰)

*7/26 **和子さん、クロマドボタル発見!** ホタル調査中の和さんが、クロマドボタルを大量に発見! 場所は青少年旅行村です。

このホタルは、ホタル科マドボタル属の1種で、陸生ボタルの代表種。地上、草の上、木の幹などでほのかな光をチラチラと放ちます。ライトを当てたりするとわかりません。暗闇でじっと目をこらすと発見できます。以前、これを希少種として扱う向きもありましたが、けっこうどこにでもいるようです。たぶん陸上で幼虫が光る生態がめずらしかったのでしょう。陸生貝類を食べているようです。

このかすかな発光、なかなか気づきません。あんがい、身近な場所にいるのかもしれない。しかし、さすがは和子さん。どんな小さな光も見逃さない観察者です。(勇)

*8/2 **二軒在家いきもの観察会**に参加して来ました。大雑把に言うと、昨年から実施されている集団営農の一環。昨年は10月に開催され、講師は同じく三田村敏正さん(県農業総合センター)で、昨年は県内初確認のエゾゲンゴロウモドキを発見。本日は福島・山形・新潟・長野の4県にしか生息しない希少種、**アマゴイルリトンボ**を確認。只見・南郷・金山など周辺でも確認されていますが、二軒在家での確認は初めて、ということで三田村さんの標本コレクションに仲間入り。専門家とご一緒すると新たな発見があり、面白いですね。(聖)



(ゲンジボタル/
'08.6.21 只見・梁取
聖)

*8/2 ツキノワグマはサワガニが好き? 7月上旬、お昼過ぎ、南郷・中小屋(きらら289付近)で、山菜(フキ)採りの地元の人がツキノワグマに襲われ、重傷に。現場近所にお住まいのご夫婦の夫(子連れクマに二番目に遭遇した)襲われたそうです。最近聞いた話だと、現場は沢沿いで、サワガニがたくさんいる所で、それを食べに来たクマだったとか。ちなみに、隣の集落の沢にはサワガニがうじゃうじゃいるそうです。(聖)

*8/19 カエルは? 今年の夏は雨が多いですが、雨

好きなはずのカエルの鳴き声が例年より少ないように思います。特にニホンアマガエルの声が少なく、いつもならあちこちで姿をみるのに、今年あまり見ません。雨の夜でも、あのうるさい位の合唱は今年は控えめというか、聞こえなかったり…。それに今の時期にまだ、道を渡る子ガエルの集団がいたりします。

逆にトノサマガエルはいつもより多く姿をみる気がします。今もまだ鳴いていて、こんなに長期間にわたってトノサマが鳴いたろうかと不思議に思っています。(潤)

■活動報告

*ユビソヤナギ&春の花観察会 4/19 (11名参加)
黒谷川下流と発電所のユビソヤナギを観察後、福寿草平でフクジュソウなど、阿弥陀堂でカタクリなどを観察。



(ユビソヤナギ観察 '08.4.19)

*4/19 定例会 (場所/吉亭・11名参加) '08年度の活動予定、これからの会のあり方等について話し合う。

*4/23 定例会&勇学 (場所/朝日地区センター・8名参加) 只見の自然の素晴らしさをプレゼンテーションするスライドと今後の活動予定等の確認。

*5/11 バードウォッチング&山野草観察会 (雨で中止)

*5/17 幹事会 (場所/朝日地区センター・7名参加)

事務局移転、役員・担当変更等と総会準備事項、活動方針等話し合う。

*蒲生岳ブナ林散策 5/25 (11名参加) ガイドは三瓶利之さん。小蒲生登山口から蒲生セラピーロード(3年前にできた登山道)をブナ林(登山口~山頂間2/3の距離、1.2km)まで登り、ブナ林を一周して下山。

2~3時間のお気軽コースなどではなく、結構な急勾配の登山で、大変そうな参加者もいましたが、ケガもなく無事に散策(?)を楽しめました。清水、風穴、只見一の大ミズナラ(幹周り6.25m)、植物や鳥、SL汽笛など見所(聞き所)たくさん、地元ガイドならではのお話も聞けて、面白かったです。

帰りにはガイドさん宅の野草コレクションを見学し、さらに交流。(MLより・聖)

*総会 6/14・18:30~ (場所/青少年旅行村バーベキューハウス・会員13名)

内容は2007年度事業報告・会計報告・事務局の移転と役員増員・2008年度事業計画・予算・その他。

*懇親会 6/14 (14名) 総会終了後、恒例のバーベキュー。メニューは健康第一、マトンしゃぶ・冷やっこ・盛りだくさんの野菜。特に潤子さん宅の極太アスパラの塩焼きは最高でした。勇さん愛情いっぱいのお会津地鶏ダッチオープンも完食。うらやましいと思われた方、来年はぜひご参加ください。(MLより・和)

***鷺が倉山登山** 6/28 (3名参加) 山頂直下の急坂はさすが危険がいっぱい。おすすめできません。おっかねー尾根を下ると気持ちのいいブナ林。巨木の一步手前のブナがいいです。なかでもこぶの多いブナがまとまっていて森の妖精が出てきそうな場所がありました。ここは気に入りました。とってもメルヘンチック。こんなところがあるのが只見のいいところ。(MLより・勇)



(鷺が倉山のブナ '08.6.28)

***7/2 定例会** (場所/民宿やすらぎ・8名参加) 総会で決めきれなかった「平成20年度事業予定」の詳細、会費未納者への対応、役割分担、MLへの投稿ルールなどについて話し合った(MLより・聖)。

***塩沢のブナ林探索** 7/27 (7名参加) 地元ガイドして頂いたのは岩淵民男さん。馬尾の滝方面にのんびり歩きながら天然炭酸水湧き出る所で喉を潤し、



(塩沢川の大ブナ '08.7.27)

川の中から温泉の出る場所を教えてもらったり、地元の人ってさすが、詳しく説明してくれて、楽しめますね。目的のブナ林には雑草に阻まれ断念。思いがけず、見つけたブナの巨木に暑さも忘れ皆満足(幹周5m以上。只見で1番太いかも)。詳しい計測は次回のお楽しみになってしまいました(場所の悪さと、メジャーが短すぎた)。恐れていたメジロ(あぶ)はまだ数匹くらいで、楽しいブナ探索でした。(MLより・和)

***星空観察会** 8/19・教育委員会と共催・講師/古川晃先生(場所/明和地区センター・38名参加) やはり雨模様でしたが、おとな20人・子供18人の参加、ありがとうございました。

雨上がりで雲多く、観察をあきらめて室内で、古川先生のCDによる**宇宙の旅**をしました。子供達と先生の掛け合いで大盛り上がりの1時間後、雲間にちよろちよろみえる**夏の大三角**や、**月のクレイター**、**木星の縞模様**を、望遠鏡で見せていただき大喜び。宇宙に魅せられる子供達の目が輝いていました。古川先生、ありがとうございました。(MLより・和)



(星空観察会の様子 '08.8.19)

■活動予定 (※総会および7/2定例会で決定した年間スケジュールを掲載しました。日程や詳しい内容は後日流れるご案内やホームページの情報をご覧ください。)

今年度の行事予定 (2008.6-2009.5)

- ホタル情報収集&観察会：6月下旬～8月、町内全域
- 小塩沢奥ブナ林調査：7月下旬
- 星空観察会：8月19日(火)19:30～大倉・つつじヶ丘運動公園、講師：古川晃氏
- 真奈川ブナ林散策：9月、案内：蒲生ガイド
- 叶津川ブナ林散策：10月、案内：入叶津ガイド
- 恵みの森落葉林散策：11月9日(日)、案内：布沢ガイド
- 忘年会：12月
- 冬鳥カウント&観察会：1月12日(月・祝)、滝湖&只見湖
- 雪まつり便乗企画：2月14日 or 15日
- 雪遊び：3月、月田農園
- ユビソヤナギ&春花観察会：4月中旬、朝日地区
- バードウォッチング&山野草観察会：5月第2週末、寄岩&蒲生
- 総会&懇親会：5月下旬～6月上旬(土曜夜)
- 蒲生川ブナ林散策：5月下旬～6月上旬(総会の次の日)、案内：蒲生ガイド

今年度の事業予定 (2008.6-2009.5)

- 救急法講習会：年1回、平日夜、AEDも
- ユビソヤナギ全木調査：報告書発行、報告会開催も
- ホタルマップ作成：収集したホタル情報のまとめ
- 調査協力：コウモリ、カワヤツメなど
- 定例会：月1回程度、情報交換・活動の検討・勉強会など※
- 幹事会：必要に応じて、会運営の検討など
- 学ぶ会通信：年4回以上発行、会員以外にも情報発信
- 学ぶ会ホームページ：8月リニューアル予定
- 学ぶ会 ML：【重要】業務連絡以外は、自由に！
- 印刷物の作成・改訂・増刷：会のパンフレット発行、既存印刷物について検討

※勉強会「只見の自然を学ぼう会」シリーズは一般に公開

(企画予定)

- ①ぬるぬる大好き！ 稲葉修氏
- ②今度は植物ハカセ！ 刈屋寿氏

■トピックス

*学ぶ会 HP リニューアル <http://www.fukosya.com/manabu.htm> (←新アドレス)

「只見の自然に学ぼう会」のホームページがリニューアルしました。今後、さらにコンテンツを充実させて、できるだけリアルタイムで只見の自然情報や観察会のご案内等を載せていきますので、ご意見等お寄せください。また、次の通り写真等も募集中です。(→学ぶ会事務局：<manabu@fukosya.com>)

- (1)HP トップの写真/レイアウトの関係で横長の写真限定です。短いコメントと撮影日をそえてメールで送ってください。
- (2)「町の宝物・只見の自然」の画像/HP の感じで画像とタイトル・コメント・撮影日・撮影場所・撮影者をメールで送ってください。
- (3)その他、掲載希望のコンテンツがありましたらご連絡ください。

*只見の自然を学ぶ講演会開催 (主催/只見の自然に学ぼう会)

南相馬市立博物館学芸員の稲葉修さんを講師にお招きして只見の自然を学ぶ講演会を企画しました。題して「只見の自然 再発見！ ぬるぬる大好き 稲葉ワールド ～イワナもヘビもカエルも大集合～」

とき：8月29日(金) 19:00～20:30

ところ：朝日地区センター

***親子で伊南川あそび第3弾「おサカナはかせと 魚とり！」**（主催／おやじの会・南郷&伊南川げんき会）

内容：おサカナはかせ・稲葉修さんと一緒に、伊南川で魚とりをして、伊南川の生きものについて詳しくなりましょう！

日時：8月31日（日）10：00～13：00

場所：伊南川 富沢口（荒天時は和泉田農村環境改善センター）

持ち物：魚とりの服装・道具、飲み物、お弁当

問合せ：南会津町教育委員会南郷分室 0241（72）2313

※参加無料。

■お知らせ

***川に関するご意見をお寄せください**（学ぶ会の会員・佐藤潤子さんからMLへの投稿です）

福島県河川審議委員会の委員を務めています。…会津地域では一人だけの委員となります。今年度の審議会予定は11月と1月だそうです。

県河川審議会で扱う河川は二級河川で、太平洋に流れ込む川が中心ですが、先日来宅した県河川課の担当者によると、一級河川も含めた河川に関する意見を広く聞かせてほしいとのことでした。実際の審議会に私はなかなか出席できませんが、審議会前に電話で意見を伝えることもできると言われました。

河川に関わるご意見（環境・防災・工法など）をお持ちの会員も学ぶ会には多いことと思います。実際の状況に対して、これは県に伝えたいというご意見がありましたら、お知らせください。一級河川、二級河川などという枠にとらわれずに、小さなことでもご連絡いただけたら、審議会の際に伝えていきたいと思っています。

（伊南川出合付近の只見川 '08.4.29）



***事務局移転とメールアドレス変更**

（新住所）〒968-0431 福島県南会津郡只見町樋戸
字館の川 1575 渡部 方
Tel&Fax／0241-82-3242

（メールアドレス） <manabu@fukosya.com>

***2008年度役員・担当の紹介**

代表／新国勇 事務局長／渡部和子

幹事／菅家亮・佐藤弘吉・熊倉彰（HP担当）・

本名由昭・山内聖子・古川勝久

会計／熊倉恵子（ML担当）

題字／本多見行

■編集室から

只見はすっかり秋の気配です。このあいだまでの猛暑はどこへ行ってしまったのか…。

発行が遅れて記事が満載！ で、ホタル情報は別のかたちでまとめた方がよいと判断してピックアップしませんでした。

MLの情報をネット環境にない会員や、会外に発信する目的で始めたこの「学ぶ会通信」も、HPリニューアルで内容を見直すときになりました。次号はどんな形の発行になるか…。地道に号数を重ねて大勢の方々に見ていただきたいと思っています。（楓）